

平成26年11月教育委員会定例会 会議録

平成26年(2014)11月25日(火)午後2時、出雲市教育委員会定例会を市民応接室に招集した。

1. 会議に出席した委員

教 育 委 員 長	木 村 保 孝
教育委員(委員長職務代理)	成 相 善 美
教 育 委 員	下 手 泰 子
教 育 委 員	本 田 惠 子
教 育 長	楨 野 信 幸

2. 説明のため会議に出席した者

教 育 部 部 長	打 田 祥 一
教 育 政 策 課 長	赤 木 亮 一
学 校 教 育 課 長	須 田 英 典
教 育 施 設 課 長	金 山 隆 司
学 校 給 食 課 長	木 代 伸 治
出 雲 科 学 館 館 長	渡 部 尚 美
学 校 教 育 課 主 査	松 浦 和 之
学 校 教 育 課 課 長 補 佐	多 々 納 満
学 校 教 育 課 児 童 生 徒 支 援 室 長	武 田 寿 博
教 育 政 策 課 学 校 再 編 推 進 室 長	馬 庭 伸 二

3. 会議の書記

教 育 政 策 課 主 査	和 田 貢
---------------	-------

4. 傍聴者

1名

開会

(木村委員長) 只今から平成26年11月定例教育委員会を開催いたします。本日の会議はお手元に配付しております日程のとおり行います。

1. 出雲市教育委員会感謝状の贈呈

(木村委員長) それでは、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。赤木教育政策課長に進行をお願いします。

(赤木課長) 只今から、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。本日、感謝状を贈呈する方は、深井明(ふかいあきら)様、禮子(れいこ)様 ご夫妻です。

贈呈の前に、ご功績につきまして、ご紹介申し上げます。

(ご功績の紹介)

それでは、木村教育委員長から感謝状を贈呈します。皆様、ご起立ください。委員長、前へお願いします。お名前をお呼びいたしますので、前の方へお進みください。

「深井明様、禮子様。」

(木村委員長) (深井氏へ感謝状と記念品を贈呈)

(深井明氏 あいさつ)

(赤木課長) ありがとうございます。以上をもちまして、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を終了いたします。大きな拍手でお送りください。

2. 会議録の承認

(木村委員長) それでは会議録の承認に入ります。前回10月定例会の会議録について、何か意見がありましたでしょうか。

(各教育委員) 異議なし。

(木村委員長) 特に意見等ありませんので、10月定例会の会議録については承認いたします。

3. 教育長行政報告

(木村委員長) 次に、教育長行政報告を、槇野教育長にお願いします。

(槇野教育長) (以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

- H26.10.29 管内教育長会
- H26.10.30 校長会役員との懇談会
- H26.10.30 学校医会役員との懇談会
- H26.10.31 中国地区造形教育研究大会
- H26.11.1 荘原幼稚園 50 周年記念式典
- H26.11.6 健康教育研究発表大会(荒木小)
- H26.11.10 久多美小、佐香小統合推進委員会
- H26.11.11 教育政策審議会
- H26.11.14 教育行政連絡協議会
- H26.11.14 まちづくり懇談会(高浜)
- H26.11.16 青少年育成推進大会
- H26.11.18 中学生議会
- H26.11.19 人権作文・ポスター表彰式
- H26.11.25 定例教育委員の会議

(2) 今後の予定

- H26.11.28 市議会初日 ~12.18
- H26.11.29 同和教育研究指定発表会(国富)
- H26.12.2 市議会一般質問 ~12.5
- H26.12.9 定例校長の会議
- H26.12.9 まちづくり懇談会(北浜)
- H26.12.10 市議会文教厚生委員会
- H26.12.12 まちづくり懇談会(稗原)
- H26.12.15 市議会予算特別委員会
- H26.12.18 市議会最終日
- H26.12.20 ネットトラブル対応シンポジウム
- H26.12.24 県学力育成会議
- H26.12.24 定例教育委員の会議

(3) 要望受理状況

H26. 11. 19

「地域再生に向けた日御碕観光の振興について」

日御碕自治協会会長、日御碕振興委員会委員長、宇龍・御崎・中山区長

(木村委員長) 只今の教育長の行政報告について、質問等がありますか。

(木村委員長) 中学生議会が、今まで教育委員会になかったというのは、去年もそうで

したか。

(榎野教育長) 去年は、青少年育成課が教育委員会にありましたので、組織的には教育委員会で行っていました。青少年育成課が市民活動支援課と一緒にあって、市民活動支援課の中に青少年育成室が入って市長部局へ行ってしまった関係で、中学生議会が市長部局の所管になったということです。やはり教育委員会で担当の方が好ましいと思います。

(木村委員長) 私も教育の一環として、事前の学校での準備や調査があるでしょうから、やはり教育委員会管轄で指導したり、準備を整えていった方がいいと思います。

(成相委員) 議会ですから形が重んじられることはありますが、中学生議会のあり方をもう少し分かりやすく、例えばもっとストレートに質問したり、もっと普通にこちらが答えるとか、そこに再質問してみんなでもう少しやり取りするとか、そういうのがあった方が面白いかなと思います。確かに議会ということですから間に拍手は無いし、写真を撮って終わりではなく、学校の先生方も生徒さんたちもそこまでの準備をしてこられているので、お互いに最後は拍手で終わるとか、「お疲れさんでした」というような声を掛けて終わるとか、議会のあり方も一つの勉強ですけど、中学生らしい、ほんわかとしたものがあってもいいと思いました。

(下手委員) この前向陽中学校へ行った時に、去年議会で言われた件で、橋を直してもらわれたと先生がおっしゃっていて、私自身もびっくりして、実施してもらえるんだという驚きもありましたが、子どもたちもすごく喜んだと思いますし、そういう報告も学校へあるのでしょうか。

(榎野教育長) できることとできないことはありますが、基本的には前向きに受け止めています。橋のことは改善しましたし、いろいろな提案がある中で、全部はできなくても一部でも取り上げて何とかするというような意識は当然持っています。本当はあそこで出たものが目に見える形で動いたとか、できたとかいうことになれば一番いいと思います。

(下手委員) 一つでもあのようなことがあると、すごくいいと思います。

(本田委員) 確かに中学生の子どもたちが、自分の言ったことが実現すれば嬉しいと思います。自分の学校のことであれば実現したことが分かりますが、他の学校に何校かそのような例があるとすれば、それはなかなかわかりかねると思いますので、そういうことが分かる機会を何か設けてほしいと思います。今年は事前に、市のいろいろな政策について説明があったそうですが、そういう機会にでも、去年はこういう質問があつてこういう形で実現しましたとか、改善しましたとか、そういったことをぜひしてあげていただきたいと思います。

(槇野教育長) 子ども観光大使が就学旅行先で声を掛けて、その人が出雲へ旅行に来られたという話が答弁の中にありましたが、この前、記者会見で情報を出しましたが、平田中学校の修学旅行団が京都で声を掛けて、パンフなどを渡しながら出雲はいいところですよという話をしたら、その方が作家だったそうです。若い人向けの本で今まで53巻を出していて、54巻が最終巻でストーリーをだいたい考えておられたのですが、その子どもたちに会ったが故に、最後は主人公が出雲大社へ行くという話にして、要は内容を変えて中学校の名前も出し、子ども観光大使の話なども載せながら出雲大社を舞台にしてもらったということがありました。11月29日発売だそうで、ちょっと余談になってしまいましたが、子どもたちが修学旅行先でいろいろな人に接する中ではそういうこともあるということで、ちょっと驚きました。

(木村委員長) ありがとうございます。では来年度から学校教育課主管になるようですので、今いろいろなご意見がありましたが、少しでもお汲み取り頂いてより良い中学生議会が開催されることを期待します。

4. 議事

(木村委員長) それでは議事にはいります。「議第39号 出雲市教育委員会感謝状贈呈者の決定について」を、教育政策課 赤木課長 に説明願います。

(赤木課長) 資料に基づき説明。

(木村委員長) 只今の、議第39号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(木村委員長) 特に質疑等がないようですので、議第39号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(木村委員長) ご異議ありませんので、議第39号については承認します。

(木村委員長) 次に、「議第40号 出雲市教育委員会感謝状贈呈者の決定について」を、教育政策課 赤木課長 に説明願います。

(赤木課長) 資料に基づき説明。

(木村委員長) 只今の、議第40号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(木村委員長) 特に質疑等がないようですので、議第40号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(木村委員長) ご異議ありませんので、議第40号については承認します。

(木村委員長) 次に、「議第41号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を、学校教育課 須田課長 に説明願います。

(須田課長) 資料に基づき説明。

(木村委員長) 只今の、議第41号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(木村委員長) 特に質疑等がないようですので、議第41号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(木村委員長) ご異議ありませんので、議第41号については承認します。

5. 協議

(木村委員長) 次に、「協議」に入ります。「出雲市学力向上推進プラン(案)について」、学校教育課 須田課長 に説明願います。

(須田課長) 資料に基づき説明。

(木村委員長) 只今、説明をしていただきました。委員の皆さんから、ご意見をいただきたいと思えます。

(本田委員) それぞれがどうするのかということが分けて書いてあり、とても分かりやすいです。それからキャッチフレーズがあって、とても使いやすいと思えます。質問で

すが、よくプランというと数値目標などがありますが、市としてどのあたりを目指すのか、例えば全国平均を上回ろうとか、何%アップとかいうことは、これにはあまりそぐわないのでしょうか。後で振り返り評価する時に、少しでも良くなれば良かったのか、思ったのはもう少し上だったとか、指標はどうでしょうか。

(槇野教育長) 内部ではいろいろ話をしていますが、来年度の学力向上対策ということでいろいろな予算要求をする予定です。その時に、現状やほかの自治体、全国的な状況を説明し、要求の目的をもう少し明確に出していく必要があると話をしていまして、今おっしゃったように数値目標で、例えば何ポイントアップとか、県内トップ水準とかいろいろあると思いますが、私たちの中で意思統一をしているのは、この学力調査結果だけが学力ではないということで、当然この公表の表現の中にも入っていますが、この学力調査に限った話でいうと、全国のトップレベルを目指すということを私たちの意思統一として、いろいろな取組をこれから進めていったり、そのために必要な予算を要求したりということをやっていききたいという考え方です。おっしゃるようなこのプランの中に、そういうものを具体的に挙げなくていいのかということになりますと、難しい面があります。学力調査の点でいうと先ほど申し上げた、全国トップレベルを目指すということになりますと、ただここで言っている学力について言うと、広義の学力というか総合力をアップしていくプランという捉え方もできますし、そのあたりをもう少し考えなくてはいけないと思います。

(下手委員) 子どもさんや保護者には、家庭ではこういうことをしましょうとか、学校を通じて示されるということですか。

(槇野教育長) これがベースになりますが、その伝え方はいろいろな手段や機会を通じて行うことになると思います。それぞれの学校の分析の結果は保護者には当然お示しして、できるだけ説明する機会を設けることになりますので、そうするとこの中に家庭での取組という欄がありますから、当然説明する際に、プランと同じようなものが、あるいはそれよりもっと具体的なものが入っていますので、このプランを直接示すというよりは、こういう分析結果とかあるいはもっとほかの機会に家庭学習の充実とかいろいろな話をする時に、それぞれ必要な資料を使ったりしてお知らせするという事ではないかと思っています。これをベースにして、教育委員会もこれからいろいろな具体的な取組をしていく、学校もそうですし、家庭もそういうことになると思います。

(成相委員) このプランそのものは、保護者にも配ったりされるものですか。この書いてある文章で理解しづらいことがあるのではないかと思います、それをどのように分かりやすく、家庭でできることとして理解してもらおうかということがありますが、このプランは配られることはありませんか。

(槇野教育長) これを配ることは考えていません。おおもとの考え抜きにいろいろな施策は打ち出せませんので、その基となるものという位置づけでいます。

(成相委員) ということは保護者の皆さんにはもっと分かりやすく、説明がある訳ですね。

(槇野教育長) そうですね。それぞれの学校が説明する機会をできるだけ取ってもらおうようにしていますが、家庭学習の充実とか生活習慣のことについて、さらにもっと噛み砕いたと言いますか、分かりやすい資料を独自に作っているいろいろな懇談会の時などに配るということは、当然学校がこれからやっていくことだと思っています。

(成相委員) わかりました。

(木村委員長) 確かにこの推進プランの使い向きは、学校がこれを少し整理して、保護者にさらに分かりやすくして、例えば子どものすべきこと、学校のすべきこと、保護者のすべきことというように整理すればよりいいものができるかなと思います。

2点ほど、チェックさせていただきたいと思います。一つめは10頁の(3)ですが、「(3)なぜ『+1する子ども』を育てる」なのか」というところで、「常に前向きに学び、よりよい自分を求めて頑張る子どもを育てる。」と、ここで終わってしまっていて、なんとなく中途半端な気がします。その後の言葉を使えば、「育てることは活力ある人材を育てることにつながります」とか、少し説明した方がいいと思います。「ひいては、よりよい出雲市をつくることに、出雲市民の幸せにつながると考えます。」と、育てることが大事だときちんと言った方がいいような気がします。文言の整理については、内部で少し検討させていただきたいと思います。もう一つ気になったのは、12頁です。「(2)の③保護者が行うこと」の所が気になっていまして、全体的に子どものやること、学校のやること、保護者のやることと整理されていますが、保護者のやることは「子どもが学校で学んでいることを把握し」と書いてありますが、本当にこういうことができるだろうかとは私は気になっていまして、それよりも「子どもの学校での学習状況を把握したり」と、内容を把握するのではなくて状況を把握するのがいいのかなと思います。そのぐらいで「保護者」は留めておいて、それから「家庭環境を整え、取組を応援したりする」と、やはり保護者もきちんと、子どもの家庭学習を応援すると、学校の学習状況をきちんと把握し、それから家庭学習の取組を応援すると、保護者はそこまですべきではないかという気がしていまして、子どもがやること、学校がやること、そして保護者はここまでやってくださいということをきちんと明記した方がいいかなという気がしました。後でまた検討させていただきたいと思います。

(木村委員長) 他に何か、気が付かれたことは無いでしょうか。

(各委員) 意見なし。

(木村委員長) それでは、特に無いようですので、先ほどの所は内部でご検討いただくということで、出雲市学力向上推進プラン(案)について、この形で決定させていただいてよろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし。

(木村委員長) それでは、この形で決定させていただきます。今後これが、議会に提案されますか。

(須田課長) 文教厚生委員会で報告します。

6. 報告

(木村委員長) 次に、報告事項に入ります。まず報告(1)「12月定例市議会への提出案件について」の補正予算案件を、担当課長に説明願います。

(馬庭室長) 資料に基づき説明。

(金山課長) 資料に基づき説明。

(赤木課長) 資料に基づき説明。

(木村委員長) 只今の、報告(1)について、何か質問等はありませんか。

(木村委員長) 無いようですので、報告(2)「平成26年度学力調査の学校別結果の公表内容について」を学校教育課 須田課長に説明願います。

(須田課長) 資料に基づき説明。

(木村委員長) 只今の、報告(2)について、何か質問等はありませんか。

(成相委員) いいものができたので、ぜひ活かしていただきたいと思います。これはまだ学校に渡っていないですね。これから渡って行って、例えば各学期ごとに先生方の反応とか、それから保護者の反応であったりとか、そういった状況が分かればぜひ途中経過を知りたいと思います。その状況をお聞きしながら、このプランとか、こういった結果が生きてくるようなことを考えて実践していかななくてはいけないと思いますから、できるなら途中経過をその都度報告していただきたいと思います。

(須田課長) 各学校へは、今日の教育委員会への報告に併せ、早急に学校へ送付するよう作業を進めています。今お話しいただきましたように、絶えず学校での取組の状況や教育委員会の取組の状況を踏まえながら、いい取組にしていきたいと思います。

(木村委員長) 膨大な資料ですので、これが各学校できちんと活かされることが一番大事だと思います。多分こういった分析とか改善策は、今までもずっと各学校で作ってお

られると思います。形式的には初めてかもしれませんが、今までも各学校で作っておられた中で、今年度初めてこういう冊子ができましたので、例年とは取組方が違います、本気ですというところが欲しい気がしますので、各学校でぜひ活用していただいて、子どもたちのためになるような指導・工夫・改善につなげてほしいと思います。ホームページにもアップされたのですか。

(須田課長) 本日です。

(木村委員長) 子どもたちのために繋がることが大事だと思います。よろしく願います。

(木村委員長) 次に、報告(3)「西野小学校給食の異物混入の原因について」を学校給食課 木代課長 に説明願います。

(木代課長) 資料に基づき説明。

(木村委員長) 只今の、報告(3)について、何か質問等はありませんか。

(成相委員) 私も食品製造に関わる会社の一人として、機械の安全管理とか衛生管理は確かに大事ですが、この会社には金属探知機はあったのでしょうか。

(木代課長) 金属探知機は、導入されておりません。

(成相委員) 市内のパン屋さんで、学校給食に関わっているところが金属探知機を持っているところが何社あるか分かりませんが、もしあったならばこの事故は防げたわけです。金属探知機の手間はものすごく速いものですから、千個ぐらいたるの簡単です。そのようなものが給食センターの中にあると、パンに関わるこういった事故は防げる、発見することができますが、これを導入されることはありませんか。この機械を通して、大変な手間を取るというものではないです。もしパン屋さんにならしたら、各センターに1台ずつあると、こういった固形のものであればすぐ発見できます。

(木代課長) パンはパン屋さんから直接学校へ配送することになっていまして、給食センターは通さず、直接行ってしまいます。パン屋さんについては1回あたり3千個から4千個作っておられまして、朝の2時、3時から作業しておられると聞いています。当然安全は徹底しないといけません、パンは週に1回しか作っていないので作業員さんも少ないということもあって、注意は十分してはいるけれども、と言っておられましたが、なかなか難しいところです。

(成相委員) ということは、また起こり得るということですか。

(木代課長) 起こり得るとしたらミキサーの中です。ミキサーの金属片がはがれて落ちるとか、それから成形をする時に、ミキサーでこねたものを小さく分割する機械があります。この前は使用前、使用後の点検が不十分でしたが、基本的には使用前と使用後に全部分解をしてチェックをしているということです。この穴というのが普段なかなかわからないところだそうできて、初めてこういうものが落ちたということで、見落としたと言っておられました。

(成相委員) 食品製造は、日夜神経をとがらしておかないと何が起きてくるか分からない、目に見えないものとの戦いですので、さらに指導をお願いします。

(木村委員長) それでは次に、報告(4)「教育委員会の人事異動について」を教育政策課 赤木課長 に説明願います。

(赤木課長) 資料に基づき説明。

(木村委員長) よろしいですか。

7. その他

(木村委員長) 次に、「その他」に入ります。教育委員会の後援・共催事業について、教育政策課 赤木課長 に説明をお願いします。

(赤木課長) 資料に基づき説明。

(木村委員長) 只今の報告について、質問等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(木村委員長) その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

8. 次期教育委員会の開催時期

(木村委員長) それでは次期教育委員会の日程ですが、12月第4火曜日が天皇誕生日になりますので、翌24日(水)午後2時から市民応接室で開催いたします。それでは、以上をもちまして、教育委員会11月定例会を閉会といたします。

(15:23) 定例教育委員会閉会